

様式第4号

課題名	多職種気管切開チームが、ICU で気管切開術を施行された重症患者の転帰に与える影響
承認番号	2023-30 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 集中治療部 氏名 藤澤美智子
研究期間	(西暦) 2024 年 2 月 ～ (西暦) 2025 年 3 月
研究の意義・目的	多職種気管切開チームは、ICU で気管切開術をうけた重症患者さんの合併症を減らし、発声の再獲得や、カニューレ抜去率に良い影響を及ぼすと報告されています。当院では呼吸ケアサポートチームで 2019 年 7 月より多職種気管切開チームを立ち上げて活動しており、その活動が ICU で気管切開術をうけた重症患者さんに良い影響を及ぼしているかどうかを調査します。
研究の方法 (対象期間含む)	2017 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月の間に、ICU で気管切開術を施行された重症患者さんが対象です。対象の患者さんの電子カルテから、年齢、性別などの患者さんの情報に加え、言語聴覚士が介入したタイミング、発声を開始したタイミング、発声用カニューレに変更したタイミング、抜去した方は抜去したタイミングなどについて情報を抽出します。気管切開チームが発足する前である 2017 年 4 月 1 日～2019 年 6 月 30 日までの期間と、2019 年 7 月 1 日以降で、気管切開から言語聴覚士介入依頼、スピーチカニューレへの変更、カニューレ抜去までの日数、最終的なカニューレ抜去率を比較します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	収集した研究用のデータは本研究の目的のみに使用します。研究用データは研究用の番号で管理し、個人を特定できる情報とは切り離して使用します。個人を特定できる情報と研究用の番号を結びつける対応表を作成し、対応表は電子カルテ内で管理します。研究用のデータは、パスワードを付けて管理します。2024 年日本集中治療医学会学会学術集会で発表予定ですが、個人が特定できる情報が公表されることはありません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	電子カルテから得られた患者さんの情報 患者さんの背景情報、入院日、ICU 入室日、人工呼吸管理開始日、気管切開術施行日、気管切開の理由、術式、人工呼吸器離脱日、ICU 退室日、退院日、退院時転帰、退院時の転出先、言語聴覚士依頼日、発声のタイミング、スピーチカニューレへの交換日、最終的に使用した気管カニューレ、カニューレ抜去日、経皮的気管切開プレート情報など
試料・情報を 利用する者の範囲	当院 集中治療部の研究責任者と分担研究者
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院集中治療部 副部長 藤澤美智子
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 集中治療部 氏名 藤澤美智子 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101